

芸術文化選奨

受賞年度：平成2年度
 受賞区分：文化賞（団体）

氏名又は団体名	こうえきざいだんほうじん なごやふいはーもにーこうきょうがくだん 公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団		
代表者(団体のみ)	理事長 山口 千秋	設立年(団体のみ)	昭和41年7月
住所	名古屋市中区	会員数(団体のみ)	楽団員72名（平成29年7月現在）
ホームページ	http://www.nagoya-phil.or.jp/		

受賞時の業績概要
<p>分野：音楽</p> <p>昭和四十一年に地元音楽家によって、プロのオーケストラを目指して結成以来、二十五年間にわたり、交響管弦楽の普及向上に尽力するとともに、国内のみならず海外演奏も積極的に行い、高い評価を得ており、本県の芸術文化の振興と向上に貢献し、今後もその活躍が期待されている。</p>



経歴・業績・近年の活動内容
<p>【活動内容】</p> <p>愛知県名古屋市を中心に、東海地方を代表するオーケストラとして、地域の音楽界をリードし続けている。その革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く日本中に話題を発信。“名フィル”の愛称で地元住民からも親しまれ、日本のプロ・オーケストラとして確固たる地位を築いている。</p> <p>2016年4月に小泉和裕が音楽監督に就任。日本を代表する巨匠指揮者の就任に、全国から高い注目と期待が集まっている。2017年は就任2シーズン目を迎え、ますます関係を深め、さらに音楽的な水準を高めることを目指している。他に現在の指揮者陣には、小林研一郎（桂冠指揮者）、モーシェ・アツモン（名誉指揮者）、ティエリー・フィッシャー（名誉客演指揮者）、円光寺雅彦（正指揮者）、川瀬賢太郎（指揮者）が名を連ねている。また2017年4月には、第2代コンポーザー・イン・レジデンスに酒井健治が就任。</p> <p>1988年に初の海外公演としてヨーロッパ2か国ツアー（フランス、スイス 広上淳一指揮）を、2000年にアジア8か国ツアー（ブルネイ、シンガポール、フィリピン、韓国、マレーシア、ベトナム、タイ、台湾 本名徹次指揮）、2004年に「プラハの春」国際音楽祭からの正式招待を受けたヨーロッパ3か国ツアー（ドイツ、オーストリア、チェコ 沼尻竜典、武藤英明、トマーシュ・ハヌス指揮）、2006年にアジア7か国ツアー（シンガポール、フィリピン、台湾、韓国、タイ、香港、マレーシア 下野竜也指揮）を実施、大成功を収める。</p> <p>楽団結成は1966年7月。1973年に名古屋市の出捐により財団法人に、2012年に愛知県より認定を受け公益財団法人となる。シーズンごとにテーマを設け、意欲的な内容に定評のある「定期演奏会」をはじめ、親しみやすい「市民会館名曲シリーズ」や障がいのある方を対象とした「福祉コンサート」など、バラエティに富んだ年間約120回の演奏会を実施。創立から50年を越え、さらなる飛躍を期している。</p>